

北海道夕張市を視察して行財政改革について考える

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 東京に公益社団法人 経済同友会という団体があります。もちろん栃木県にも経済同友会があり、私はそれに参加させていただいていますが、東京の経済同友会にも入らせていただいています。その東京の経済同友会には地方分権道州制委員会というものがあります。その委員会の方々と一緒に、8月26日(月)と27日(火)に北海道に視察に行つて参りました。どこを視察したかというところ、夕張市が中心です。そのほかには、札幌市にある北海道庁に行つて知事さんと意見交換をしました。また、2日目には白老町というところに出掛けて、町長さんや町議会の議長さんなど町の幹部の方々と意見交換をしました。
3. 主に行つたのは夕張市です。皆さんも御承知のように、夕張市は自治体として破綻したということで非常に有名になったところです。2006年に財政再生団体の指定を受け、大変な状況でした。なぜそのようなことになったのかといいますと、言いにくいのですが、不適正な財務会計の処理によって赤字が累積し、それが拡大してしまったからだとは私は考えます。具体的に言いますと、エネルギー政策の転換によって炭鉱が閉鎖になり、人口が減りました。最高時には12万人いた人口が、今年は1万人ぐらいで、12分の1になってしまったのです。破綻したのには、閉山対策のための公共投資に過剰な投資をした、人口が減つたので効率化を進めるといふ行政体制づくりを遅らせてしまった、観光施設をつくり最初は上手くいったが、だんだんにお客さんが来なくなつてしまった、地方交付税という国からの交付金が大幅に減つてしまったなど、たくさんの理由があります。つまり、入るお金が減つたのに出るお金が増えて、適正な会計処理をしなかつたために赤字になり、それが溜まつてしまったということです。皆さんはそれに気がついてはいたのかもしれませんが、はっきりとは気がつかないで抜本的な対策を打たなかつたということが、自治体破綻の本当の原因ではないかと私は思いました。ピーク時の人口12万人が1万人に減少する間に為すべきことはたくさんあったと思われるのに、その為すべき行財政改革が間に合わなかつたということだと思ひます。
4. では、今はどのようなことをしているのかといいますと、これは参考になるかわかりませんが、人件費を削減しているようです。辛い話ですが、2006年当時から市役所の職員数を約4割に削減したり、給料を20%カットしたりしています。観光事業や病院事業、水道事業を見直して閉鎖し

たり、民営化したり、PFI という方法をとったりしています。施設の統廃合といたしまして、7 つの小学校を 1 つにしたり、3 つの中学校を 1 つにしたり、市立の図書館を廃止して保健福祉センターの図書コーナーに図書館を移転したりして、歳出の削減に取り組んでいます。また、住民の理解を得て、税率やいろいろな使用料・手数料を引き上げることによって収入を増やすということもやっています。

5. 一方で、面積が東京都 23 区的面積よりも広い夕張市で、人口 1 万人、約 5600 世帯の市民にどのようにして市民生活を保障するかということですが、今一番やっつけらっしゃることはコンパクトシティということです。ここは、高齢化率という 65 歳以上の人口比率が 43.8%で全国 1 位、少子化率という 15 歳未満の人口比率が全国 2 位で、50 年ぐらいの間に人口が 11 分の 1 とか 12 分の 1 に減っているわけですから、市民が安心して暮らすにはコンパクト化しないと判断なさったようです。最近テレビや新聞などでよく言われているコンパクトシティという考えは、例えば市営住宅などを見直して町の中央にまとめる、公共交通網の整備を見直すなど、都市全体をコンパクトにまとめて効率のよい市民サービスの提供を目指すということだと思います。

6. 夕張市が果たした役割はどのようなことでしょうか。人口が減ったり、歳入が減ったりしているところは全国に数知れなくあります。それらの自治体は、夕張市のようにならないために、市役所や町役場、村役場の職員の数を減らしたり、賃金をカットしたりして、1 つ 1 つの経費の抜本的な見直しをして行政の効率化を図ることを存亡を懸けて行っています。もう一つは、今お話をしたコンパクトシティへの取り組みです。人口が急激に減っていますので、高齢化率の高い限界集落では従来通りの行政サービスを提供することは財政上かなり難しいです。そこで、例えば耐用年数を超えつつある下水道の設備をどうするか、道路・橋・トンネルをどうするか、共同住宅などの社会インフラをどうするかといったことをもう一回考え直す必要があります。言いにくい話ですが、だいぶ古くなっている水道設備を何億円も掛けて直すよりは、不便ではあると思いますが、給水車を 4 回～5 回出してそこまで水を汲みに行っていただくということまで考えないと、行政はなかなか立ち行かなくなるということだと思います。

7. 夕張市の市長さんは、32 歳の若い市長さんです。東京都の職員でしたが、地元の方々に頼まれて市長に立候補して当選なさって 2 年目の本当に元気はつらつの方です。お給料が今までよりも 2 ～ 300 万円少なくなっても頑張っいらっしゃいます。このように、いろいろな形で頑張っている夕張市です。

8. 放送をお聴きの皆様にも是非夕張市に行って現状を見ていただきたいと思います。同時に、夕張市のようにならないためにはどうしたらよいかをみんなで考えたいと思います。どうかよろしく願いいたします。